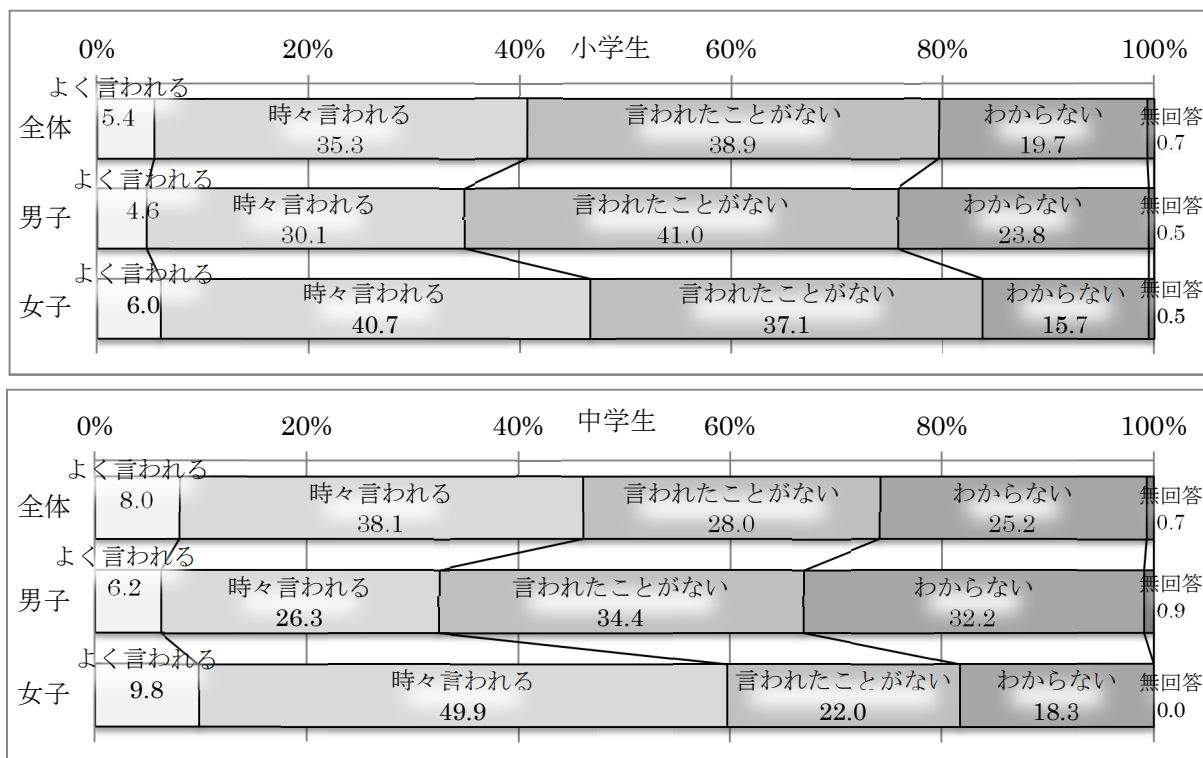


「男・女だから～（しなさい）という発言の有無《児童生徒》

あなたは今までに、「男だから～しなさい」とか「女だから～しなさい」などと言われたことがありますか。



性別役割を意識する上で、どれくらい大人から直接の影響を受けているかをみるため、大人に「男だから～しなさい」「女だから～しなさい」などと言われた経験があるかないかについてきた。

小学生では「よく言われる」「時々言われる」の和、40.7%、「言われたことがない」38.9%で「よく言われる」「時々言われる」が1.8p高い。

男子は、「言われたことがない」41.0%が「よく言われる」「時々言われる」の和34.7%より6.3p高い。

女子は、「よく言われる」「時々言われる」の和46.7%が「言われたことがない」37.1%より9.6p高い。

「よく言われる」「時々言われる」の和は、男子34.7%より女子46.7%が12p高い。

中学生では「よく言われる」「時々言われる」の和46.1%、「言われたことがない」28.0%で「よく言われる」「時々言われる」が18.1p高い。

男子は、「言われたことがない」34.4%が「よく言われる」「時々言われる」の和32.5%より1.9p高い。

女子は、「よく言われる」「時々言われる」の和59.7%が「言われたことがない」22.0%より37.7p高い。

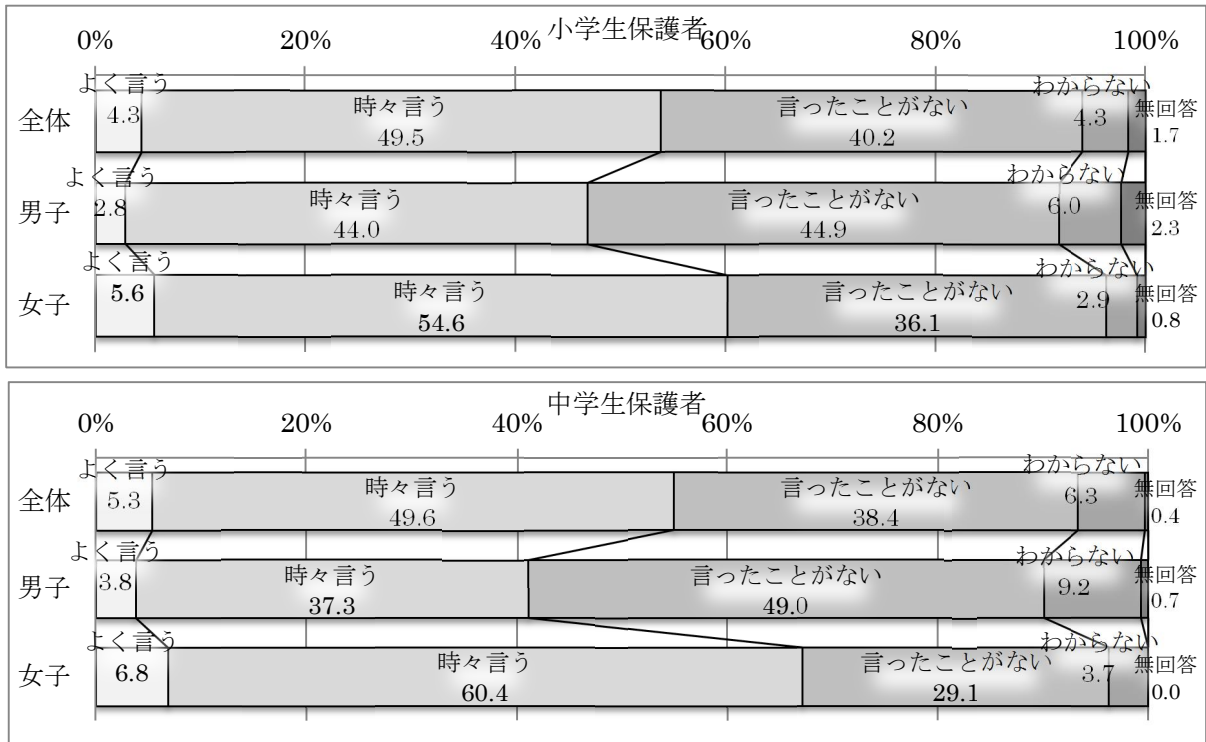
「よく言われる」「時々言われる」の和は、男子32.5%より女子59.7%が27.2p高い。

子ども側の言われた自覚は、小中学生とも男子に比べ女子の方が高い。

男子の場合、言われた自覚は小中ともあまり変化がなく、若干中学生の方が低い。(34.7%→32.5%→2.2P減)が、女子の場合は46.7%から59.7%へと13Pも高くなっている。

これは、保護者の自覚率「よく言う」「時々言う」の和：54.9%より高い。

あなたは子どもに対して、「男だから～しなさい」とか「女だから～しなさい」などと言ったことがありますか。



子どもに対して、「男だから～」 「女だから～」 などと言った事があるかについてきいた。

小学生保護者では、「よく言う」「時々言う」の和 53.8% 「言ったことがない」 40.2% となっており、「よく言う」「時々言う」が 13.6 ポイント高い。

男子は、「よく言う」「時々言う」の和 46.8%が「言ったことがない」 44.9%より 1.9 ポイント高い。女子は、「よく言う」「時々言う」の和 60.2%が「言ったことがない」 36.1%より 24.1 p 高い。「よく言う」「時々言う」の和は、男子 46.8%より女子 60.2%が 13.4 p 高い。

中学生保護者では、「よく言う」「時々言う」の和 54.9% 「言ったことがない」 38.4% となっており、「よく言う」「時々言う」が 16.5 p 高い。

男子は、「言ったことがない」 49.0%が「よく言う」「時々言う」の和 41.1%より 7.9 p 高い。女子は「よく言う」「時々言う」の和 67.2%が「言ったことがない」 29.1%より 38.1 p 高い。「よく言う」「時々言う」の和は、男子 41.1%より女子 67.2%が 26.1 p 高い

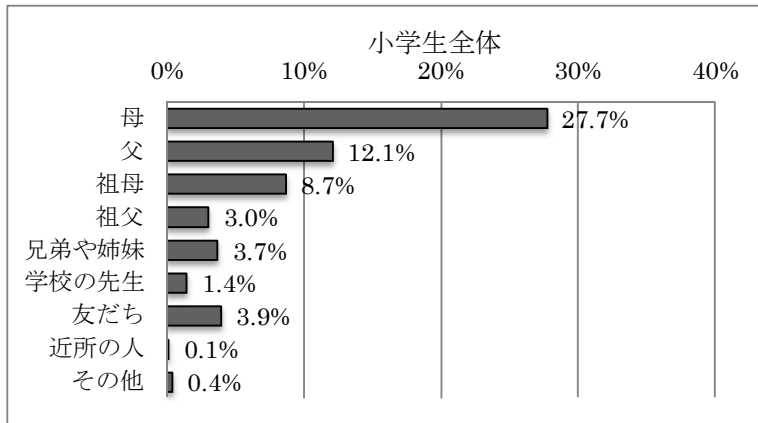
子どもに比べて、保護者の方が言う事・言わないことに自覚的である。子どもは「わからない」が多い。
 「わからない」・・・小学生：19.7%、小学生保護者：4.3%
 中学生：25.2%、中学生保護者：6.3%
 →親の小言を子どもはあまり聞いていないのかもしれない。

保護者の自覚としては、子どもが小学生であっても中学生であっても、「言う」「言わない」の割合はあまり変わらない。しかし、子どもが女子である場合、男子である場合に比べて言った（「よく言う」「時々言う」の和）と自覚している人の割合が小中学生とも高い。

「男・女だから～しなさい」の発言者《児童生徒》

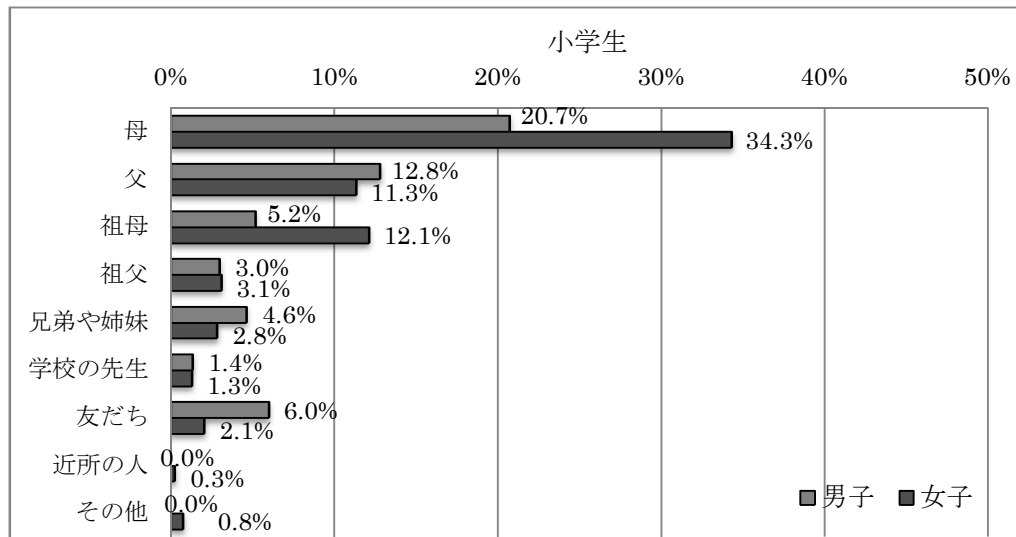
「よく言われる」「時々言われる」のどちらかに○をつけた人のみお答えください。

あなたは、誰からそういわれましたか。(複数回答可)



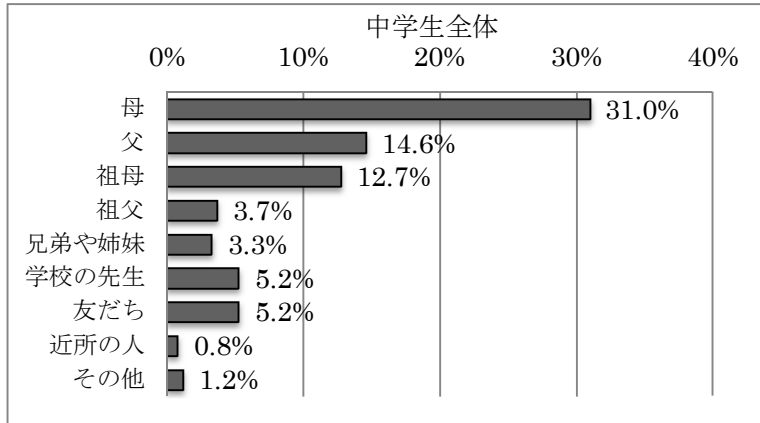
「よく言われる」「時々言われる」と答えた人に、誰から言われたか聞いた。
(複数回答)

なお、全体の中のどれだけの子どもが言われているのかをみるため、各項目の割合をだすにあたって、分母は「よく言われる」「時々言われる」と答えたものでなく、それぞれの全体の総数、男子総数、女子総数としている。



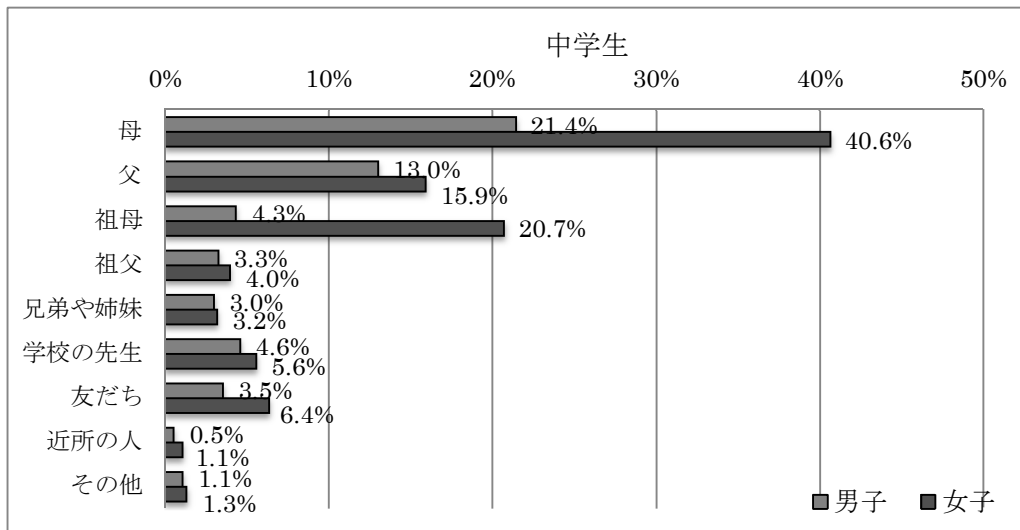
小学生では、多かった順に、「母」「父」「祖母」の順であった。

男子は、「母」「父」「友だち」、女子は、「母」「祖母」「父」の順であった。女子は、「母」から言われるが34.3%で、特に高い。



中学生では、多かった順に、「母」「父」「祖母」の順であった。

男子は、「母」「父」「学校の先生」、女子は、「母」「祖母」「父」の順であった。女子は、「母」から言われる40.6%で、特に高い。

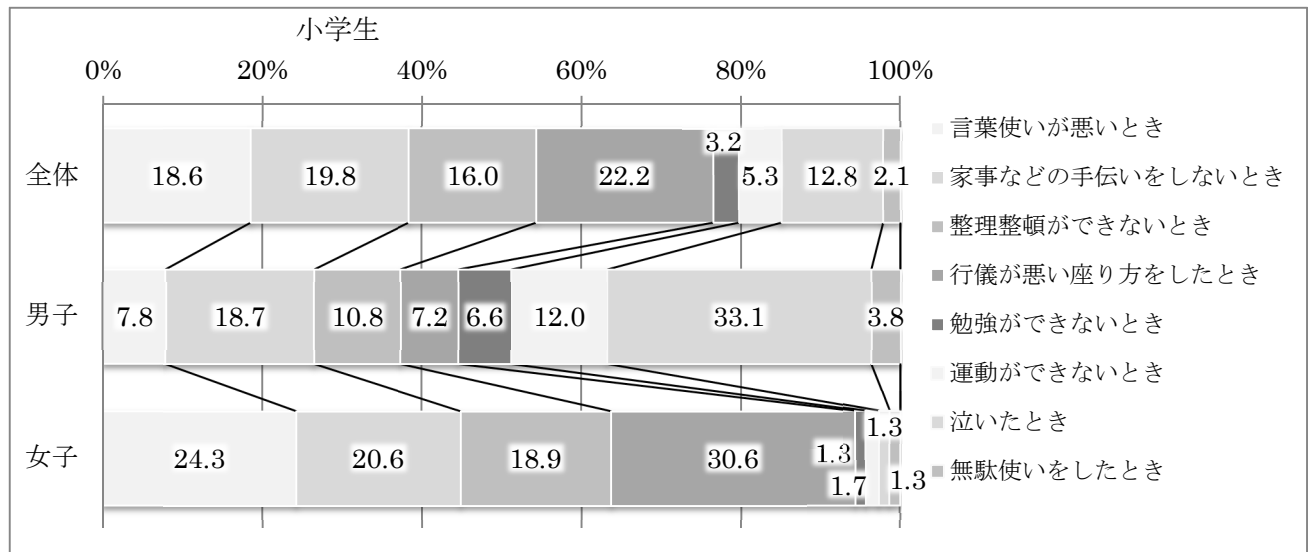


- ①発言者のトップ3は小中学生とも同じ・・・1位：母、2位：父、3位：祖母
- ②祖母を第3位に押し上げているのは、女子の孫に対する発言が多いからである。女子に対しては、父親より祖母の発言が多く、特に女子の5人に1人は「女だから～」と言われている。
- ③男子が女子より発言を受けているのは、小学生の「父親」「友達」「兄弟姉妹」だけである。男児の場合、ピアプレッシャーがジェンダーの基礎を作るという面もあるのかもしれないと思われる。これについては、新たなる調査を期待している。
- ④女子は、ロールモデルとしての母親と祖母から、徹底的に「女らしくあること、女の役割を果たすこと」を求められ、訓練されて育つのではないかという意見もあがった。

「男・女だから～しなさい」と発言された場面《児童生徒》

「よく言われる」「時々言われる」のどちらかに○をつけた人のみお答えください。

どんな場面で言われましたか。(複数回答可)

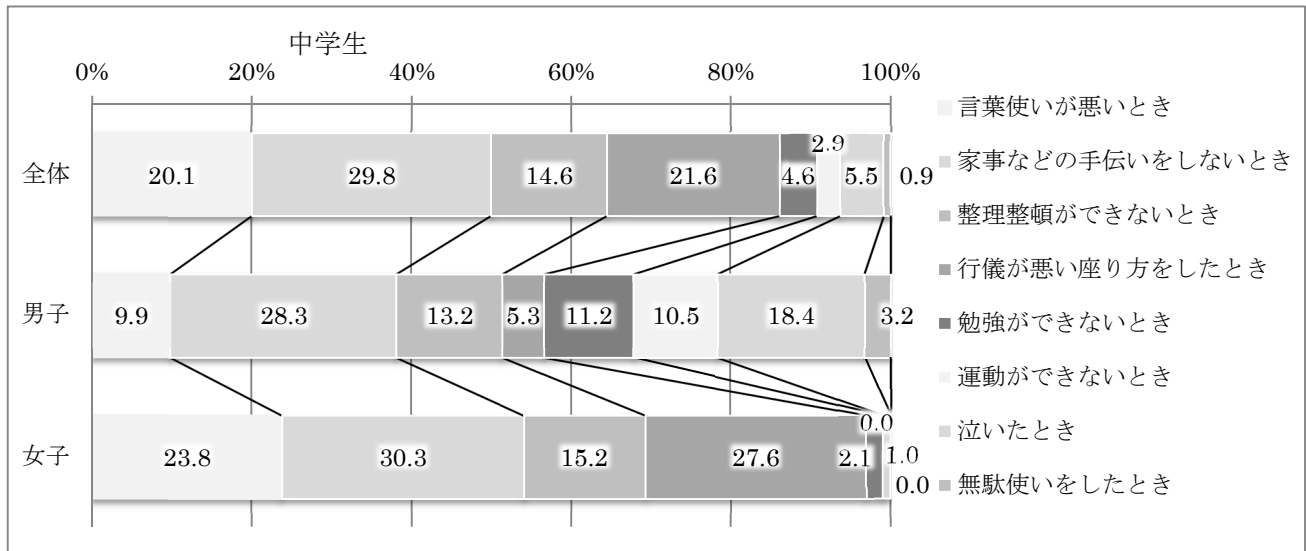


「よく言われる」「時々言われる」と答えた人に、どんな場面で言われたかきいた。

小学生では、「行儀の悪い座り方をしたとき」22.2%、「家事などの手伝いをしないとき」19.8%、「言葉使いが悪いとき」18.6%の順であった。

男子に対する上位：1位 泣いたとき 33.1% 2位 家事などの手伝いをしないとき 18.7%
3位 運動ができないとき 12.0%

女子に対する上位：1位 行儀が悪い座り方をしたとき 30.6% 2位 言葉使いが悪いとき 24.3%
3位 家事などの手伝いをしないとき 20.6%



中学生では、「家事などの手伝いをしないとき」29.8%、「行儀の悪い座り方をしたとき」21.6%、「言葉使いがわるいとき」20.1%の順であった。

男子に対する上位：1位 家事などの手伝いをしないとき 28.3% 2位 泣いたとき 18.4%
3位 整理整頓ができないとき 11.2%

女子に対する上位：1位 家事などの手伝いをしないとき 30.3% 2位 行儀が悪い座り方をしたとき 27.6% 3位 言葉使いが悪いとき 23.8%

発言された場面は、保護者の回答と同傾向がみられる。

「家事などの手伝いをしない時」に対して言われた自覚は、男女差が少ない。

小学生が言われた自覚：性差 1.7 p (男子 18.7% < 女子 20.6%)

中学生が言われた自覚：性差 2.0 p (男子 28.3% < 女子 30.3%)

※児童生徒と保護者の設問に対する選択肢が若干の違いがあります。